

別紙様式（Ⅱ）

商品名：イチヨウ葉

安全性評価シート

食経験の評価

<p>①喫食実績 による食経 験の評価</p>	<p>喫食実績の有無：<input checked="" type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし</p> <p>（「あり」の場合に実績に基づく安全性の評価を記載）</p> <p><当該製品における喫食実績></p> <p>摂取集団：日本人、健常な男女、全国規模</p> <p>摂取形状：錠剤</p> <p>摂取方法：かまずに水又はお湯とともに摂取</p> <p>摂取目安量：1日3粒</p> <p>機能性関与成分の1日摂取量：イチヨウ葉フラボノイド配糖体 28.8mg、イチヨウ葉テルペンラクトン 7.2mg</p> <p>販売期間：平成14年3月から130万袋（1袋あたり30日分）</p> <p>健康被害情報：重篤な健康被害は報告されていない</p> <p>※<input type="checkbox"/>評価が十分→⑧へ、<input checked="" type="checkbox"/>喫食実績なし又は評価が不十分→②へ</p>		
<p>既存情報を 用いた評価</p>	<p>②2次情報</p>	<p>公的機関のデータ ベースの情報</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし</p>
<p>（なしの場合） 民間や研究者等が調 査・作成したデータ ベースの情報</p>		<p><input type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし</p>	<p>※「なし」の場合→③へ</p>
<p>（データベースに情報が「あり」の場合：食経験に関する安全性の評価の詳細を記載すること）</p> <p>[安全性総合評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中、授乳中の安全性については十分なデータがないため使用を避ける。 ・イチヨウ葉製剤は適切に用いれば経口摂取でおそらく安全と思われるが、副作用として、ごくまれに胃や腸の不快感、頭痛、めまい、動悸、便秘、皮膚アレルギー反応などが起こる。 ・生の葉は重篤なアレルギーを起こすことがあるので摂取しないこと。 ・抗血小板薬・抗血液凝固薬、ワルファリン服用中の人は出血傾向になるため注意が必要である。 <p>以上より、副作用として、胃や腸の不快感、頭痛、めまい、動悸、便秘、皮膚アレルギー反応な</p>			

別紙様式（Ⅱ）

		<p>どが起こる可能性が示唆されているが、服用中止後に回復に向かう軽微な症例であり、かつ発生頻度も低い。これまでの当該製品の喫食実績においても、重篤な健康被害は報告されていないことも含めて、食経験に関する安全性の評価は十分と判断した。</p> <p>※<input checked="" type="checkbox"/>評価が十分→⑧へ、<input type="checkbox"/>評価が不十分→③へ</p> <p>(データベース名) (独) 国立健康・栄養研究所「健康食品」の安全性・有効性情報</p>
	③ 1次情報	<p>1次情報の有無：<input type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし ※「なし」の場合→④へ</p> <p>(1次情報が「あり」の場合：食経験に関する安全性の評価の詳細を記載すること)</p> <p>※<input type="checkbox"/>評価が十分→⑧へ、<input type="checkbox"/>評価が不十分→④へ</p> <p>(参考文献一覧)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2. 3. <p>(その他)</p>

安全性試験に関する評価

既存情報による安全性試験の評価	④ 2次情報	<p>公的機関のデータベースの情報</p> <p><input type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし</p>
		<p>(なしの場合) 民間や研究者等が調査・作成したデータベースの情報</p> <p><input type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし</p> <p>※「なし」の場合→⑤へ</p>

別紙様式（Ⅱ）

		<p>(データベースに情報が「あり」の場合：安全性に関する評価の詳細を記載すること)</p> <p style="text-align: right;">※<input type="checkbox"/>評価が十分→⑧へ、<input type="checkbox"/>評価が不十分→⑤へ</p> <p>(データベース名)</p>
	<p>⑤ 1次情報 (各項目は「あり」の場合に詳細を記載)</p>	<p>1次情報の有無：<input type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし ※「なし」の場合→⑥へ</p> <p>(調査時期)</p> <p>(検索条件)</p> <p>(検索した件数)</p> <p>(最終的に評価に用いた件数と除外理由)</p> <p>(安全性の評価)</p> <p style="text-align: right;">※<input type="checkbox"/>評価が十分→⑧へ、<input type="checkbox"/>評価が不十分→⑥へ</p> <p>(参考文献一覧)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2. 3. <p>(その他)</p>
<p>安全性試験の実施による評価</p> <p>※安全性が評価された場合→⑧へ</p>	<p>⑥ <i>in vitro</i> 試験及び <i>in vivo</i> 試験</p>	

別紙様式（Ⅱ）

	⑦臨床試験	

（安全性試験を実施した場合、当該試験の報告資料を添付すること。ただし、文献として公表されている場合には参考文献名を記載すれば、添付する必要はない。）

別紙様式（Ⅱ）

機能性関与成分の相互作用に関する評価

<p>⑧ 医薬品との相互作用に関する評価</p>	<p>(参考にしたデータベース名又は出典)</p> <ol style="list-style-type: none"> (独) 国立健康・栄養研究所 「健康食品」の安全性・有効性情報 (社) 日本健康食品・サプリメント情報センター編、ナチュラルメディシン・データベース 「健康食品・サプリメント【成分】のすべて」 第一版 (株) 同文書院
<p>相互作用の有無： <input checked="" type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし</p>	
<p>(「あり」の場合：機能性表示食品を販売することの適切性を詳細に記載すること)</p> <p>イチョウ葉エキスの作用機序として、血小板活性化因子 (Platelet-Activating Factor) の阻害による血液凝固抑制作用が報告されており、血液凝固抑制薬やワルファリンなどの抗血栓薬の服用を行っている時にイチョウ葉エキスを摂取すると、これらの医薬品の作用が増強され、紫斑や出血が生じる可能性を高めるおそれがある。そのため、当該医薬品を服用している消費者に対しては、当該製品の摂取を禁忌とすることが適切であると判断し、摂取上の注意事項欄に「血液凝固抑制薬やワルファリンなどの抗血栓薬を服用している方は摂らないでください。」と記載した。</p> <p>また、イチョウ葉エキスは、下記の医薬品と相互作用を示す可能性が示唆されており、これらの医薬品との併用には慎重な経過観察が必要であるが、併用が禁忌ではないこと及び当該製品は健常者を対象としており、下記の医薬品を服用していない健常者が適切に摂取する場合には安全上問題ないと判断した。</p> <p><イチョウ葉と相互作用を示す可能性のある医薬品></p> <p>抗不安薬 (アルプラゾラム、ブスピロン)、抗ウイルス・抗 HIV 薬 (エファビレンツ)、フルオキセチン、降圧薬 (ヒドロクロロチアジド)、非ステロイド抗炎症薬 (イブプロフェン)、CYP1A2 で代謝される医薬品、CYP2C19 で代謝される医薬品、CYP2C9 で代謝される医薬品、CYP2D6 で代謝される医薬品、CYP3A4 で代謝される医薬品、血糖降下薬、発作閾値低下薬、血液凝固抑制薬、抗痙攣薬、プロトンポンプ阻害薬 (オメプラゾール)、トラゾドン、抗血栓薬 (ワルファリン)</p> <p>以上により、当該製品を機能性表示食品として販売することは適切であると判断した。</p>	

別紙様式（Ⅱ）

<p>⑨ 機能性関 与成分同士 の相互作用 （複数の機能 性関与成分に ついて機能性 を表示する食 品のみ記載）</p>	<p>（参考にしたデータベース名又は出典）</p> <p>1. 2. 3.</p> <p>相互作用の有無： <input type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし</p>
	<p>（「あり」の場合：機能性表示食品を販売することの適切性を詳細に記載すること）</p>

別紙様式（Ⅲ）-1【添付ファイル用】

商品名：イチョウ葉

製造及び品質の管理に関する情報
 (サプリメント形状の加工食品、その他加工食品)

(1) 製造者氏名、製造所所在地等 情報	製造者氏名又は製造所名	富山小林製薬株式会社
	種類	<input type="checkbox"/> 中間製品まで製造・加工を行う <input checked="" type="checkbox"/> 原材料又は中間製品から最終的な容器包装に入れる工程まで行う
	製造所所在地	富山県富山市中大久保100-1
	届出者か否か	<input type="checkbox"/> 届出者 <input checked="" type="checkbox"/> 届出者以外
	製造所固有記号で表示される場合はその記号	
(2) 製造施設・従業員の衛生管理等の体制 (以下の項目をチェック又は記載。重複可)		
① GMP、HACCP、ISO 22000、FSSC 22000に基づき、届出食品が製造されているか。 <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	種類	<input checked="" type="checkbox"/> 国内GMP <input type="checkbox"/> 米国GMP (<input type="checkbox"/> 認証を受けている) <input type="checkbox"/> 総合衛生管理製造過程 <input type="checkbox"/> 都道府県等 HACCP <input type="checkbox"/> ISO 22000 <input type="checkbox"/> FSSC 22000
	承認書等発行者	公益財団法人 日本健康・栄養食品協会
	承認書等番号	120-B-04
② 国外で製造される場合において、当該外国内で販売する食品に対し、GMP 又は HACCP の基準に従い製造することを義務付けている場合であって、届出食品も当該基準により製造されているか。 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ		<input type="checkbox"/> GMP <input type="checkbox"/> HACCP
		国名又は地域名
③ <input type="checkbox"/> ①及び②以外の場合 製造施設・従業員の衛生管理等の体制について具体的に右欄に記載す		

別紙様式（Ⅲ）-1【添付ファイル用】

<p>る。</p> <p><input type="checkbox"/> ①又は②に該当し、さらに特に記載したい事がある場合 右欄に記載する。</p>	
<p>(3) 規格外の製品の流通を防止するための体制等</p>	<p>以下のいずれかにチェック</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> (2) ①の認証等に従い実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> (2) ②の基準に従い実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> それ以外（取組状況について下記に記載する。）</p>
<p>(4) その他特記すべき事項</p>	

別紙様式（Ⅲ）-3【添付ファイル用】

商品名：イチヨウ葉

原材料及び分析に関する情報

第1 生産・製造及び品質管理の体制		
(1) 機能性関与成分を含む原材料名（届出食品が生鮮食品の場合は除く）	イチヨウ葉エキス	
第2 食品の分析		
(2) 機能性関与成分の定量試験	試験機関の名称	一般財団法人 日本食品分析センター
	試験機関の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 登録試験機関又は登録検査機関 <input type="checkbox"/> 農業試験場等（生鮮食品に限る） <input type="checkbox"/> その他の第三者機関 <input type="checkbox"/> 届出者又は利害関係者
	分析方法を示す資料	<input checked="" type="checkbox"/> 標準作業手順書 <input type="checkbox"/> 操作手順、測定条件等できる限り試験方法について具体的に記載した資料
	届出者又は利害関係者で分析を実施する場合、その合理的理由	
(3) 安全性を担保する必要がある成分の定量試験 □あり (成分名：) <input checked="" type="checkbox"/> なし	試験機関の名称	
	試験機関の種類	<input type="checkbox"/> 登録試験機関又は登録検査機関 <input type="checkbox"/> 農業試験場等（生鮮食品に限る） <input type="checkbox"/> その他の第三者機関 <input type="checkbox"/> 届出者又は利害関係者
	分析方法を示す資料	<input type="checkbox"/> 標準作業手順書 <input type="checkbox"/> 操作手順、測定条件等できる限り試験方法について具体的に記載した資料
	届出者又は利害関係者で分析を実施する場合、その合理的理由	
(4) 届出後における分析の実施に関する資料（機能性関与成分及び安全性を担保する必要がある成分）	機能性関与成分	
	分析方法、代替指標の場合はその成分名を併記	試験機関の名称（あらかじめ規定されている場合のみ）及び分析機関の種類
	高速液体クロマトグラフ法 フラボノイド配糖体	一般財団法人 日本食品分析センター（登録試験機関）

別紙様式（Ⅲ）-3【添付ファイル用】

	高速液体クロマトグラフ 法 テルペンラクトン	一般財団法人 日本食品分析センター（登録試験機関）		
	安全性を担保する必要がある成分			
	分析方法、代替指標の場合はその成分名を併記	試験機関の名称（あらかじめ規定されている場合のみ）及び分析機関の種類		
<p>（5）届出後における分析の実施に関する資料（原料の基原の確認方法及び製品の崩壊性試験等を実施する必要がある場合、その方法及び頻度）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし</p>	確認する項目（基原等）及び試験方法	試験機関の名称及び種類	確認の頻度	その他
	基原の確認 （原料の試験成績書の確認）	富山小林製薬株式会社（利害関係者）	毎ロット	
	原料中のギンコール酸の含有量 （原料の試験成績書の確認）	富山小林製薬株式会社（利害関係者）	毎ロット	
	崩壊性 （第十六改正日本薬局方一般試験法崩壊試験法）	富山小林製薬株式会社（利害関係者）	毎ロット	
	一般生菌数 （標準寒天平板法）	富山小林製薬株式会社（利害関係者）	毎ロット	
	大腸菌群 （BGLB法）	富山小林製薬株式会社（利害関係者）	毎ロット	
	重金属 （食品添加物公定書一般試験法）	富山小林製薬株式会社（利害関係者）	年1回	
	ヒ素 （食品添加物公定書一般試験法）	富山小林製薬株式会社（利害関係者）	年1回	

別紙様式（Ⅲ）-3【添付ファイル用】

<p>(6) その他特記すべき事項</p>	<p>イチョウ葉にはアレルギー物質であるギンコール酸が含まれており、イチョウ葉エキスの製造工程において、ギンコール酸の除去が必須である。そのため、公益財団法人 日本健康・栄養食品協会によるイチョウ葉エキスの規格基準は、ギンコール酸の含有量がエキス中に 5ppm 以下と規定されている。当該製品においては、安全性を鑑みて、ギンコール酸の含有量がエキス中に 1ppm 以下となるように除去した原料のみを使用している（ギンコール酸の含有量は原料の試験成績書にて確認を行う）。一般的な規格基準よりも厳しい品質管理を行うことにより、安全性を担保している。</p>
-----------------------	--

注) 機能性関与成分が複数ある等、本様式に記載しきれない場合は、適宜記入欄を追加し、必要な事項を記載すること。